

AED マッピング救命医療研究について

(研究倫理審査課題名：蘇生率や社会復帰率からみた AED の戦略的配置による効果測定)

1. 研究対象

研究期間において、堺市消防局が救急搬送した傷病者の方のうち、心肺停止を起こされた方を対象とします。なお、本研究では、実証実験を行う堺市消防局管内で発生した心肺停止の傷病者の方のみを対象とします。

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、実証実験として郵便局やコンビニエンス・ストアに対して AED を配置することにより、心肺停止を起こされた方の蘇生率や社会復帰率に与える効果を明らかにすることです。また、心肺停止が疑われる救急要請があった際、消防指令センターから本研究にボランティアで参画する 65 名の消防職員（勤務時間外に限る）が付近のまちかど AED を搬送し、心肺蘇生法など救命活動を行い、その効果についても検討します。

研究期間は 2024 年 12 月 10 日～2026 年 12 月 31 日となります。

3. 研究に用いる情報の種類

本研究では、堺市消防局が日常の救急活動の中で収集する救急搬送記録の情報、および、AED 機器から収集される情報を取り扱います。

- ・救急活動に関する時間情報（119 番通報時刻や現場到着時間等）
- ・救急活動に関する位置情報（119 番要請があった住所や施設名等）
- ・AED が利用された場合の時間情報
- ・AED の利用実態の情報
- ・AED 適用患者さんの予後等

4. 本研究に関する情報の取り扱い

本研究では、堺市消防局の救急搬送記録、および AED 機器使用情報をもとに AED の設置効果などを計測します。本研究で収集された AED の蘇生事例などの情報は個人情報秘匿化された情報として取り扱います。また、本研究による成果については、個人が特定できない集計した情報として学会等で発表します。

本研究は、大阪公立大学大学院文学研究科の研究倫理審査委員会により、研究承認を受けた研究となります。

5. 研究組織

以下の研究体制で本研究を遂行します。

研究代表者 大阪公立大学大学院文学研究科地理学教室 教授：木村 義成

研究分担者 大阪公立大学大学院医学研究科救急医学教室 客員准教授：山本 啓雅

研究協力者 堺市消防局 救急部 救急課

研究協力施設 堺市内の全ての郵便局（101 件）、および研究協力いただけるファミリーマート（85 件）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がございましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

大阪公立大学大学院文学研究科地理学教室 教授：木村 義成

連絡先：yoshinari-kimura@omu.ac.jp

堺市消防局 救急部 救急課長：片岡 竜彦

連絡先：shokyu@city.sakai.lg.jp